編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
31-86	中学校	国語科	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名		
17　教出	国語　903	伝え合う言葉　中学国語３		

１．編修の基本方針

本教科書は,「教育基本法」に示された教育の目標と「学習指導要領」に示された教科目標を達成するため,それらの基盤となる「言葉の力」を国語科において育てることを目ざし，以下のような方針に基づいて編修しています。

（1）「言葉」を見つめ,「言葉」と関わる力を育てます。

さまざまな**話題・題材を取り上げた文章や教材**にふれることにより，**論理的な思考，感性，情緒，コミュニケーション**の基礎となる「言葉」そのものに立ち止まり，言葉を**意識的・自覚的**に用いることのできる力を育てます。

情報を捉え，論理的思考力を高める。

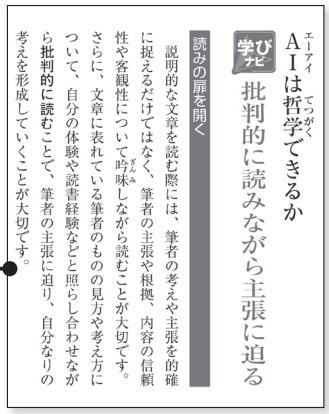
「学びナビ」……「話すこと･聞くこと」「書くこと」「読むこと」「メディアと表現」教材に設定。

「メディアと表現」

P.60『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』

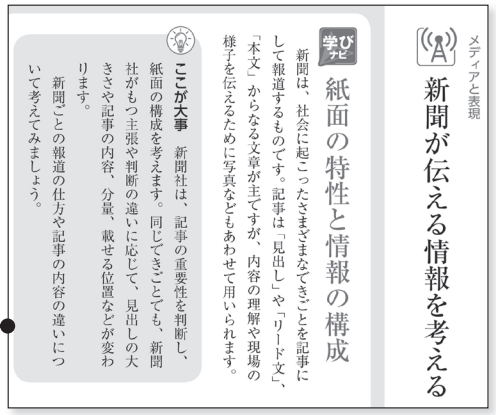
P.64『新聞が伝える情報を考える』

P.108『ニュースで情報を編集する』


AIは哲学できるか
学びナビ
批判的に読みながら主張に迫る
読みの扉を開く
説明的な文章を読む際には、筆者の考えや主張を的確に捉えるだけではなく、筆者の主張や根拠、内容の信頼性や客観性について吟味しながら読むことが大切です。さらに、文章に表れている筆者のものの見方や考え方について、自分の体験や読書経験などと照らし合わせながら批判的に読むことで、筆者の主張に迫り、自分なりの考えを形成していくことが大切です。

◀P.74「読むこと」『ＡＩは哲学できるか』「学びナビ」

▼P. 64『新聞が伝える情報を考える』


メディアと表現
新聞が伝える情報を考える
学びナビ
紙面の特性と情報の構成
新聞は、社会に起こったさまざまなできごとを記事にして報道するものです。記事は「見出し」や「リード文」、「本文」からなる文章が主ですが、内容の理解や現場の様子を伝えるために写真などもあわせて用いられます。
ここが大事　新聞社は、記事の重要性を判断し、紙面の構成を考えます。同じできごとでも、新聞社がもつ主張や判断の違いに応じて、見出しの大きさや記事の内容、分量、載せる位置などが変わります。
新聞ごとの報道の仕方や記事の内容の違いについて考えてみましょう。

価値ある教材，話題にふれ，国語科としての感性や情緒を高める。

文学的文章　P.18『立ってくる春』　P.22『なぜ物語が必要なのか』

P.32『私』　P.180『故郷』　P.14『春に』　P.266『やわらかな想い』

P.296『素顔同盟』　P.300『語り継ぐもの』　ほか

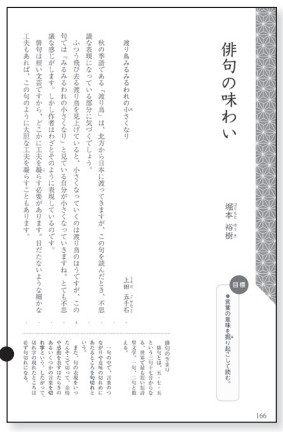
説明的文章　P.76『ＡＩは哲学できるか』

P.92『async――同期しないこと』　P.96『問いかける言葉』

P.304『言葉の力』　ほか

和歌・短歌・俳句　P.72・P.88・P.114・P.242『四季のたより』

P.166『俳句の味わい』　p.262『青春の歌』


俳句の味わい
堀本　裕樹
目標
季節感の表現を味わい取ることを読む。
渡り鳥みなみなわれのふるさとより
秋の季語である「渡り鳥」は、北方から日本に渡ってきますが、この句を読んだとき、不思議な感覚になっていると思ったことでしょう。みなみなっていうのは普通自分のほうにすぎて、この句は、「みなみなわれのふるさとより」と言わずに、「とより」と言うことで、遠くを思い出しているのです。「とより」は、「から」の意味ですが、「とより」とすることで、遠くを思い出している感覚を出しているのです。
俳句は短い文芸ですから、どこかに工夫を施すことが必要があります。目だたないようなつ細かな工夫もあれば、この句のように伝統的な工夫を施すこともあります。
上田　正昭（うえだ　まさあき）
166

▲P.166『俳句の味わい』

対話，交流をとおしてコミュニケーションの力を高める。

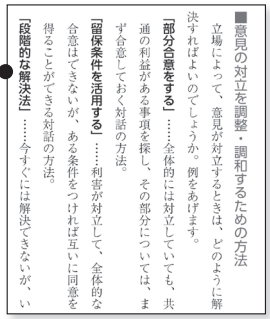
「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

P.230『「対話力」とは何か』

「言葉と社会」

P.200『コミュニケーションの場を考える』

P.236『自分の意見を述べるとき』


■意見の対立を調整・調和するための方法

立場によって、意見が対立するときは、どのように解決すればよいのでしょうか。例をあげます。

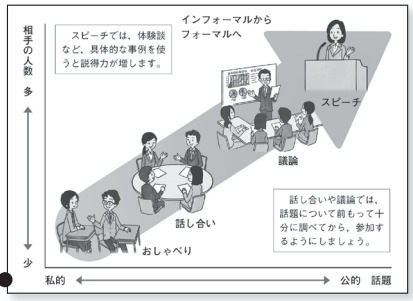
「部分合意をする」……全体的には対立していても、共通の利益がある事項を探し、その部分については、まず合意しておく対話の方法。

「留保条件を活用する」……利害が対立して、全体的な合意はできないが、ある条件をつければ互いに同意を得ることができる対話の方法。

「段階的な解決法」……今すぐには解決できないが、い

▲P.233「話すこと・聞くこと」『「対話力」とは何か』

▼P.200『コミュニケーションの場を考える』



語句，語彙を豊かにし，理解や表現に結びつける。

「この教材で学ぶ言葉」

……「読むこと」教材「みちしるべ」に設定。

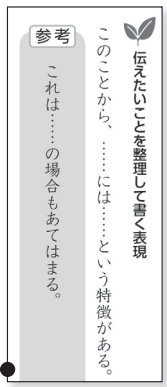
「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の表現のまとめ

……各教材に設定。

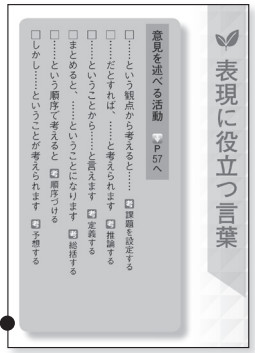
折込④『理解に役立つ言葉』

折込⑥『表現に役立つ言葉』

▲P.196『故郷』



◀P.83「書くこと」『具体例をもとに説明文を書く』



▲巻末折込⑥『表現に役立つ言葉』

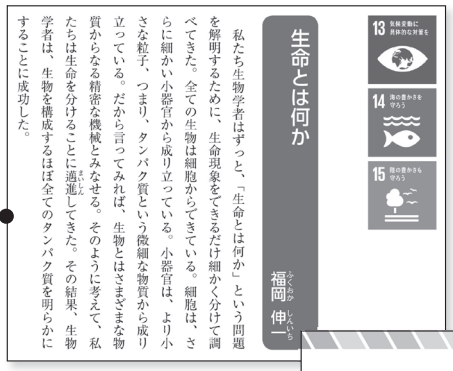
(2)「日本と世界の課題」に向き合い，「未来を切り開き，創造する」学びを育てます。

持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ，社会や世界が直面している課題や社会の**多様性**にふれ，言葉や表現をとおして**未来の社会や世界を切り開き，創造していく力**を育てます。

P.220『持続可能な未来を創るために――人間の生命・存在を考える』

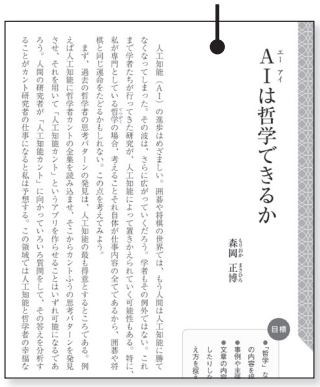
P.235『意見を共有しながら話し合う』

P.76『ＡＩは哲学できるか』

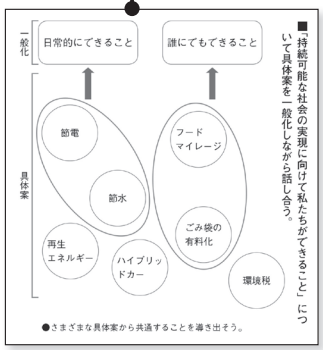


◀P.222『持続可能な未来を創るために――人間の生命・存在を考える』

▼P.220



▲P.76『ＡＩは哲学できるか』



▲P.235「話すこと・聞くこと」『意見を共有しながら話し合う』

(3)「日本と郷土の伝統的言語文化」を継承・創造します。

わが国の**伝統的な言語文化**や**郷土の言語文化**などを理解し，次の時代や世代に**継承**し，**新たな価値を創造する力**を育てます。

P.116『旅への思い――芭蕉と『おくのほそ道』――』

P.126『和歌の調べ――万葉集・古今和歌集・新古今和歌集――』

P.134『風景と心情――漢詩を味わう――』

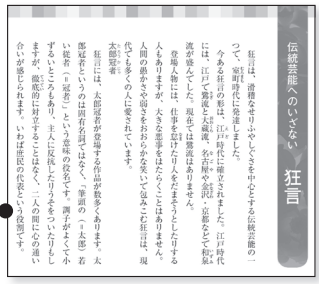
P.140『最後の一句』

P.310『古典文学の名作』

P.314『伝統芸能へのいざない　狂言』

◀P.118 ～ 119『旅への思い――芭蕉と『おくのほそ道』――』

▼P.314『伝統芸能へのいざない　狂言』



伝統芸能へのいざない　狂言

狂言は、滑稽なせりふやしぐさを中心とする伝統芸能の一つで、室町時代に発達しました。

今ある狂言の形は、江戸時代に確立されました。江戸時代には、江戸で鷺流と大蔵流、名古屋や金沢・京都などで和泉流が盛んでした。現在では鷺流はありません。

登場人物には、仕事を怠け上り人をだまそうとしたりする人もありますが、大きな悪事をはたらくことはありません。人間の弱かさや弱さを笑いで包みこむ狂言は、現代でも多くの人に愛されています。

太郎冠者

狂言には、太郎冠者が登場する作品が数多くあります。太郎冠者というのは固有名詞ではなく、一筆頭の（＝太郎）若い従者（＝冠者）」という意味の役名です。調子がよくて小ずるいところもあり、主人に反抗したりうそをついたりもしますが、徹底的に対立することはなく、二人の間にらの通い合いが感じられます。いわば世間の代表という役割です。

2．対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第２条の第１号から第５号**との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第一号〉　幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。

〈第二号〉　個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第三号〉　正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第四号〉　生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第五号〉　伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

種別	領域等	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
知識及び技能	言葉	和語・漢語・外来語 相手に対する配慮と表現 慣用句・ことわざ	●日本語に関する基本的な知識と教養をとおして，日常用いる言語を客観的に分析し，社会性や法則性に自ら気づくことができるように配慮しました。〈第１号〉 ●（和語・漢語・外来語）日本語に含まれる多様で国際的な要素を学ぶことをとおして，わが国と郷土を愛する態度を養うとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第５号〉 ●（相手に対する配慮と表現）「敬語」を理解することで，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできたわが国の郷土を愛する態度を養えるように配慮しました。〈第５号〉 ●社会のグローバル化を見据え，日本語と世界の言語を比較するなどして言語の知識を身につけ，世界に通用する人材を育成できるよう配慮しました。〈第５号〉	P.86 P.270 ～ 272 P.107 P.273 ～ 275 P.162 P.276 ～ 278
	文法	助詞のはたらき 助動詞のはたらき 文法的に考える		P.70 P.282 ～ 286 P.106 P.287 ～ 291 P.292 ～ 294
	言語文化	旅への思い 和歌の調べ 風景と心情	●わが国の伝統や文化，及び中国の文化について理解を深めたり幅広い教養を身につけたりできるように教材を選定するとともに，図や写真を掲載するなどしてさまざまな工夫を施しました。〈第５号〉	P.116 ～ 125 P.126 ～ 133 P.134 ～ 139
	読書	薔薇のボタン	●被爆者の衣服の写真という観点から戦時中の文化的な状況や気配を伝える優れた文章を読むことで，豊かな情操と道徳心を培い，伝統と文化を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第１号〉〈第５号〉	P.48 ～ 56
		最後の一句	●「願い書」をしたためた「いち」の行動を読み，自主及び自律の精神を養い，近代以降，日本を代表する作家の名作を読むことによって，わが国の伝統文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第２号〉〈第５号〉	P.140 ～ 159
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	構成を考えて主張をまとめる	●優先席の必要性についてスピーチする活動をとおして，社会生活の課題を考え，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第３号〉	P.57 ～ 59
		「対話力」とは何か	●国際的な問題に対して話し合うことをとおして，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第５号〉	P.230 ～ 233

思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	意見を共有しながら話し合う	●持続可能な社会に向けて話し合う活動をとおして，生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第４号〉	P.235 ～ 237
		コミュニケーションの場を考える 自分の意見を述べるとき	●（言葉と社会）場に応じた表現や話題を選択する能力を身につけ，また，裁判員制度など社会生活の場面で必要な言葉について考えを深めることで，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画できるように配慮しました。〈第３号〉	P.200 P.234
	書くこと	具体例をもとに説明文を書く	●読み手を説得するために，具体的な事例を考える活動をとおして，個人の価値を尊重して，その能力を伸ばせるように工夫しました。〈第２号〉	P.81 ～ 83
		自己PR文を書く	●書き上げたPR文を読み合い，読み手からの助言を踏まえ，よい点や改善点を知ることで，個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培えるように配慮しました。〈第２号〉	P.197 ～ 199
		情報をまとめて作品集を作る	●自分の成長を振り返ることをとおして，自己の尊厳と価値について考え，その能力を伸ばそうとする態度を養い，自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。〈第２号〉	P.239 ～ 241
	読むこと	立ってくる春	●季節と言葉，生活を描いた作品を読むことをとおして，豊かな四季の恵みのあるわが国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第５号〉	P.16 ～ 21
		なぜ物語が必要なのか	●物語を生み出し，人生を実り豊かなものにしようとしてきた人間の生きざまを見つめることで，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養い，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第３号〉〈第５号〉	P.22 ～ 28
		私	●「私」とは何かという問いを考えることをとおして，真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。〈第１号〉	P.30 ～ 44
		故郷 バースデイ・ガール	●生きることの意味とは何かという普遍的な問いをもち，考える作品を読むことをとおして，正義と責任，自他の敬愛と協力，主体的に社会に参画する態度などを養うことができるよう配慮しました。〈第３号〉	P.178 ～ 196 P.244 ～ 261
		青春の歌	●生徒にとって身近で等身大の人間の心情をうたった短歌を読むことをとおして，幅広い知識と教養を身につけ，豊かな情操を培い，わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第１号〉〈第５号〉	P.262 ～ 265
		俳句の味わい	●優れた表現の近代の俳句を読むことをとおして，豊かな情操を培い，わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第１号〉〈第５号〉	P.166 ～ 173
		初恋	●著名で優れた近代の詩を読むことをとおして，幅広い知識と教養を身につけ，豊かな情操を培い，わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第１号〉〈第５号〉	P.174 ～ 177
		やわらかな想い	●人々のかけがえのない想いが語られた詩を読むことをとおして，豊かな情操と道徳心を培えるように配慮しました。〈第１号〉	P.266 ～ 267
		AIは哲学できるか	●人工知能と哲学の関係について書かれた文章を批判的に読むことで，幅広い知識と教養を身につけ，真理を求め，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第１号〉〈第３号〉	P.74 ～ 79
		async――同期しないこと	●音楽家のものの見方や考え方をとおして，個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養えるように配慮しました。〈第２号〉	P.90 ～ 95
		問いかける言葉	●「問い」を投げかけ，対話を行うことの重要性について書かれた文章を読むことをとおして，真理を求め，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるように配慮しました。〈第１号〉〈第２号〉	P.96 ～ 102
		実用文を読む	●社会生活における実用的な文章を読むことをとおして，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第３号〉	P.111
総合		持続可能な未来を創るために――人間の生命・存在を考える	●持続可能な社会の実現という観点から自己の学びを振り返り，次の学びにつなげることで，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第３号〉 ●多様性が地球環境の持続可能性に寄与することを理解することで，真理を求め，生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第１号〉〈第４号〉	P.220 ～ 229
メディア		メディア・リテラシーはなぜ必要か？	●メディア・リテラシーを身につけ，情報を批判的に読み解く能力を育てることで，真理を求め，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第１号〉〈第３号〉	P.60 ～ 63
		新聞が伝える情報を考える ニュースで情報を編集する	●新聞やニュースで報道されている内容は第三者によって再構成された事実であることを学ぶことをとおして，真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。〈第１号〉	P.64 ～ 67 P.108 ～ 110
付録		言葉でつかんだ世界―	●試練を乗り越えて生きる筆者の文章を読むことで，正義と責任，他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるよう配慮しました。〈第３号〉	P.308 ～ 309
		理解に役立つ言葉 表現に役立つ言葉	●日常用いる言語について実践的な知識と教養を身につけ，真理を求める態度を養えるように配慮しました。〈第１号〉	巻末折込④～⑤ 巻末折込⑥～⑦

3．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は，教育基本法に示された義務教育の目的や，学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために，特に以下の点に意を用いて編修しています。

ユニバーサルデザインへの配慮

色覚等の特性を踏まえた，判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト，表現方法，文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により，全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

特別支援

特別支援が必要な学習者への配慮として，全体をとおしての**統一感や一体感，読みやすさ，わかりやすさ**を意識したレイアウト，**安心感と安定感**のある色づかい，トーンバランスを心がけました。

地球となかよし

教科書の印刷には，環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し，地球環境への負荷軽減に配慮しています。

軽量化

学習者の身体の発達状況を考慮して，**耐久性，見やすさ，軽さを兼ね備えた教科書用紙を採用**しています。

他校種・教科との連携

小中，中高の接続

学習上重要な用語や思考に関する言葉などを『**学習に必要な用語（索引）**』にまとめ，学習の振り返りやまとめができるようにしています。

『**学びのチャレンジ**』では学力調査や高校入試，大学入試改革なども視野に入れています。また，高等学校の学習につながる**論説文，評論文**の充実を図ったり，**高校でも学ぶ古典作品**を多く選定したりするなど，**高等学校までの学び**のつながりを意識した教材化の工夫をしています。

教科間の連携

国語科としての見方・考え方をはたらかせることによって，学びの基礎を育む構成にしました。

＊話題や言語活動の連携

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の**「学びを生かそう」**では，他教科の学習や日常の場面で，**国語科で学んだ内容や言語活動を生かす**観点を示しています。

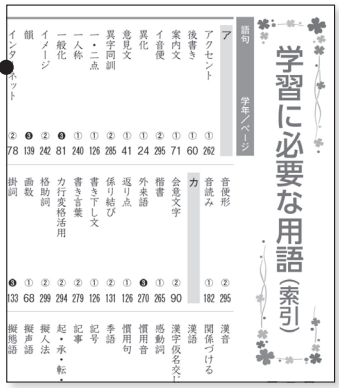
＊思考や語彙の重視によって育成を目ざす資質・能力の連携

各教科で扱う以下のような資質・能力について，**思考や語彙を明確に取り上げ**ました。

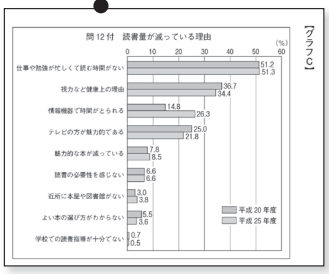
①言葉で表す力（言語的リテラシー）　②自ら考える力（論理的思考力・問題発見解決能力・メタ認知力）　③共に学ぶ力（人間関係形成力）

＊他言語と日本語の関わり

言葉のはたらきや文法の仕組みを学習する際，外国語生活者との交流や他言語（主に英語）との比較をとおして，日本語の理解がより深まるよう配慮しました。

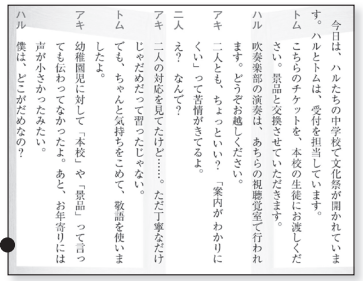


▲P.317『学習に必要な用語（索引）』



◀P.217『学びのチャレンジ』

▲P.105
ほか



▲P.107『言葉の小窓　2　相手に対する配慮と表現』

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数表）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
31-86	中学校	国語科	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名		
17　教出	国語　903	伝え合う言葉　中学国語３		

１．編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は，国語科における「言葉による見方・考え方」をはたらかせるための魅力ある「言語活動」を位置づけた**「主体的・対話的で深い学び」を設定**し，社会生活に生きてはたらく**「資質・能力」を育む**ことを目ざし，以下のような編修上の工夫をはかっています。

「主体的，対話的で深い学び」を実現するための教科書構成の二大特徴　①

1．単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより，多様な話題への取り組みをとおして言葉の力を高める

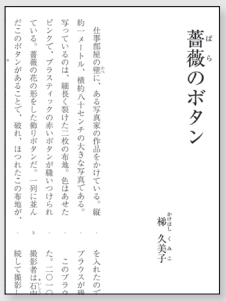
- 本教科書では，国語科の課題，学習者を取り巻く**課題を考えるためのキーワード**を七つにまとめ，三年間でそれぞれの単元に設定しています。

  - 表現／対話／思想　　• 自然／環境／科学　　• 人権／多様性／平和
  - 伝統／文化／歴史　　• 身体／生命／家族
  - 近代化／国際社会／共生　　• 自己／他者／物語

- これらのキーワードは，国連の「**持続可能な開発目標（SDGs）**」と深く関係し，**言葉によるものの見方や考え方を，多面的**に捉え，学習者が**未来の世界を変えるための知識**と力を獲得することを願って立てられています。

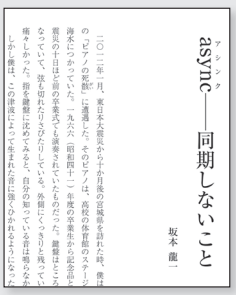
単元のキーワードに即した**多様な話題**をとおして，生徒が**自ら問いを立て**，その問いについて試行錯誤し，協力し合って**主体的，対話的に課題を解決する力（自己学習力）**を育てます。

●人権／多様性／平和

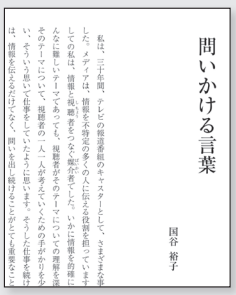


▲P.48

●表現／対話／思想

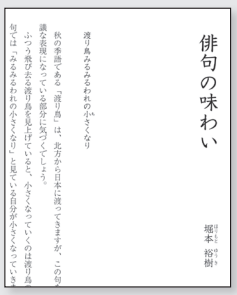


▲P.92

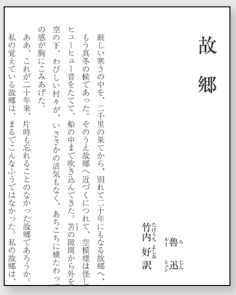


▲P.96

●自己／他者／物語



▲P.166



▲P.180

「主体的，対話的で深い学び」を実現するための教科書構成の二大特徴　②

2. 学習内容を明確化する「学びナビ」と課題を追究する方法

- 「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「メディアと表現」の各教材について，**「学びナビ」**を設定しています。
- **「学びナビ」**は，各教材の学習に入る前に読み，**内容をより深く読んだり，学習内容を認識したりするための手だて**を示し，**学習へのかまえをもたせる**ページです。

「読むこと」：「何が書かれているか」だけでなく，**「どのように書かれているか」**にも着目して読めるような「読み方」を提示し，**自ら読む力**を養います。

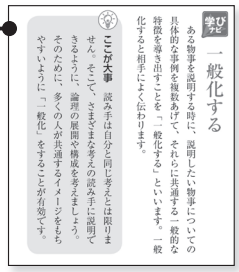
「話すこと・聞くこと」「書くこと」：表現をするときに**はたらく思考との関係**を提示し，**論理的な思考力に基づく表現力**を養います。

「メディアと表現」：写真や広告など，身のまわりにあるさまざまな**媒体の特徴**と言葉との関わりを提示し，**言葉を活用する力**を養います。

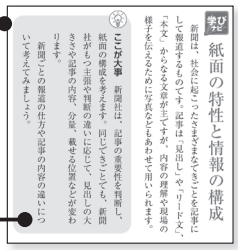
- 学習にあたって**確実に身につけたい重点的な内容**を**「ここが大事」**にまとめています。

学びの基礎となる**課題解決の手順**や**思考の方法**について，**可視化**したり，**取り立て**たり，**関連**させたりしながら，**自ら学びに向かう力**を身につけます。

▲P.31「読むこと」『私』「学びナビ」



▲P.81「書くこと」『具体例をもとに説明文を書く』



▲P.64「メディアと表現」『新聞が伝える情報を考える』

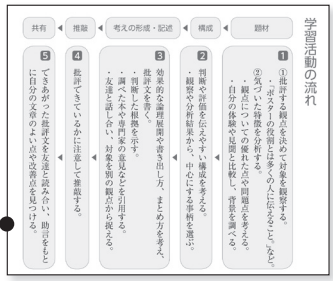
- 学習にあたって**確実に身につけたい重点的な内容**を**「ここが大事」**にまとめています。

新たな学びの課題に対応し，「資質・能力」育成の具現化を目ざした内容の工夫

学習を見通し振り返る能力と，学習の過程に即して課題解決へ向かう能力を育成する。

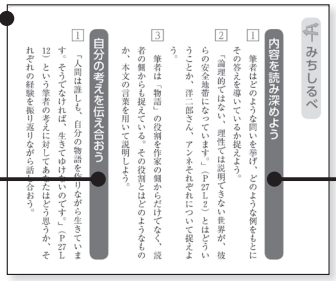
- 言語活動をとおして確かな学力を身につけるため，学習指導要領に示された**「学習過程」の習得**を踏まえ，**言語活動の展開を明確**にしています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」：活動の過程を明確に示し，その**教材での重点**を示しています。



▲P.104「書くこと」『説得力のある批評文を書く』

「読むこと」：学習の手引き「みちしるべ」において，学習過程に即して**段階を整理**しています。



▲P.28『なぜ物語が必要なのか』

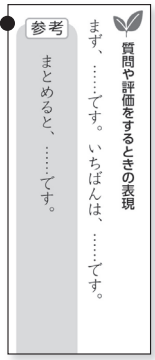
主として構造と内容の把握、精査・解釈をおさえる。

主として考えの形成・共有、言語活動をおさえる。

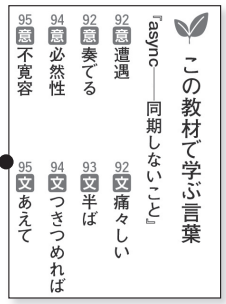
- **「目標」「振り返り」**：課題意識を高め，学習内容を見通したうえで目標を達成したか，学習者**自らが学習の方法や内容を振り返り，学びを自覚化**できるように工夫しています。

思考と語彙の連携により，情報を適切に扱う能力を育成する

- 各領域の教材で，**学習に関わる語彙や表現**をまとめ，教材の中の多様な**情報（内容）のつながりを把握し，活用する力**を育成できるようにしています。
  「話すこと・聞くこと」「書くこと」：言葉のまとめ
  「読むこと」：「この教材で学ぶ言葉」

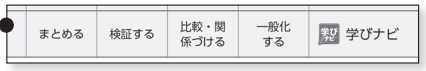


▲P.59「話すこと・聞くこと」『構成を考えて主張をまとめる』



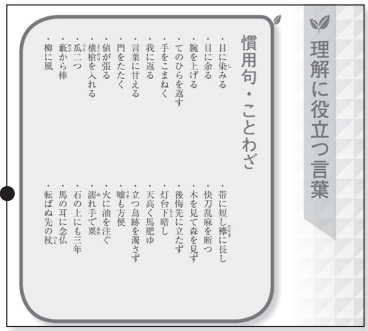
▲P.102『async——同期しないこと』

- 各領域の「学びナビ」では，理解したり表現したりする**活動を支える思考の言葉や学習用語**を取り立てて示し，**学習を意識化**できるようにしています。（P.6『言葉の地図』で，その全体を見通すことができます。）



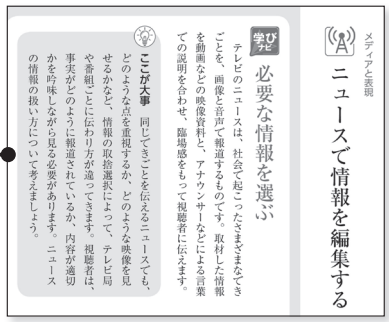
▲P.9『言葉の地図』

- 巻末折込では，その学年や中学校でおさえておきたい**語彙や表現の観点や例**を示し，教材とつなげながら語彙や表現を豊かにできるようにしています。
  折込④『理解に役立つ言葉』
  折込⑥『表現に役立つ言葉』

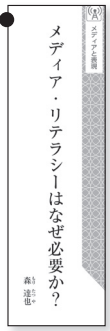


▲巻末折込④『理解に役立つ言葉』

- **「メディアと表現」：身近なメディアにおける表現**について，言語との関わりをとおして理解と活用を促します。
  P.60『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』
  P.64『新聞が伝える情報を考える』
  P.108『ニュースで情報を編集する』



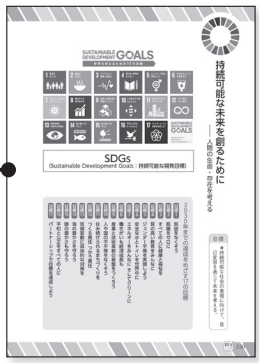
▲P.108『ニュースで情報を編集する』



▲P.60『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』

自ら問いを発見し，問いに向き合い，解決を目ざすことにより，言葉をとおして社会との関わりを考える

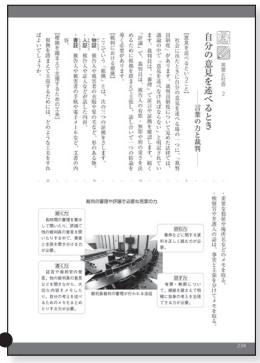
- 現代社会，国際社会におけるさまざまな課題について，言葉との関わりを踏まえながら，**主体的に身のまわりの話題や事象をもとに考えていく**教材を設けました。
  P.220『持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える』



▲P.220『持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える』

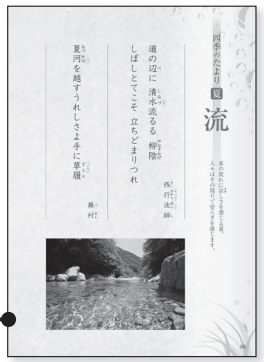
- 身につけておくべき**コミュニケーション能力をもとに，日常生活から社会生活へと意識を高める**教材を設けました。
  P.200『言葉と社会　1　コミュニケーションの場を考える』
  P.234『言葉と社会　2　自分の意見を述べるとき』

▼P.234『自分の意見を述べるとき』

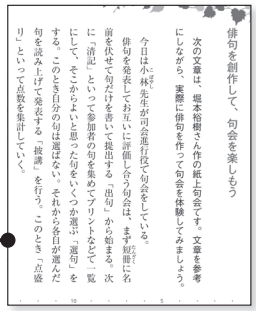


言語文化を継承し，担い手となる自覚を促す

- 古典教材では，**作品の特徴や特質**を踏まえ，内容の理解を深めるための「みちしるべ」を設定しました。
  「内容を捉えよう」→主として知識及び技能，構造と内容の把握をおさえる。
  「読み深めよう」→主として精査・解釈，言語活動をおさえる。
- 日常の生活の中でも**言語文化を意識づけられる**よう，教材の内容や配置を工夫しました。
  『四季のたより』 P.72『春　風』 P.88『夏　流』
  P.114『秋　音』 P.242『冬　空』
  P.310『古典文学の名作』
- 言語文化を享受するのみに終わらず，**自ら次の世代に伝えていく**ために，活動的な教材を設けています。
  P.166『俳句の味わい』



▲P.88『四季のたより　夏　流』

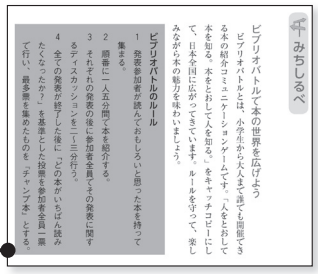


▲P.172『俳句の味わい』

豊かな読書生活の実現により，言葉の力を高める

- 各単元のキーワードと関わる図書を紹介した『広がる本の世界』を設け，**多種多様な本を紹介**し，読書へ誘う工夫をしています。
- 図書館の活用など，**読書に関する知識，情報，活動**も充実させています。
  P.48『薔薇のボタン』

▲P.45『広がる本の世界１』



▲P.54『薔薇のボタン』「みちしるべ」

自ら学び，他教科や日常生活での基礎となる

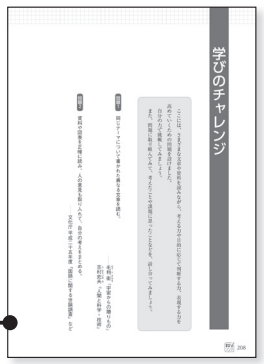
- 言葉のはたらきを学ぶことで，全ての教科の基礎となるよう，**言葉の知識や技能，他教科の学習との関わりなどを示しました。**
  「学びナビ」や「教材で学ぶ言葉」などで，学習や思考に関わる用語や表現を取り立てた教材化をはかっています。
  「学びを生かそう」→「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材に設けています。
- 自分の力でさまざまな文章や資料を読み，表現する教材『**学びのチャレンジ**』を設けました。

▲P.102『問いかける言葉』「みちしるべ」

考えるときの観点として生かす語彙や表現。

学びを生かそう 社会に出て、自分自身を表現するときに役立てよう。

◀P.241「書くこと」『情報をまとめて作品集を作る』ほか



▲P.208『学びのチャレンジ』

さらなる学びの拡充のために

- 当社ウェブサイトをとおして教材に関わる資料などを見ることができる**「まなびリンク」**を設けました。
- **学びを広げる**ための資料，**自分の力で取り組む**ための資料などを用意しています。

まなびリンク

2．対照表

教材名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数（　）内は，含まれる領域の時数
	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等		
一　自己／他者／物語				
〈詩〉春に　谷川俊太郎	(1)イ	C(1)ウ　C(2)イ	P.14 ～ 15	1
〈随筆〉立ってくる春　川上弘美	(1)ウ	C(1)ウ　C(2)イ	P.16 ～ 21	3
〈随筆〉なぜ物語が必要なのか　小川洋子	(1)ウ	C(1)ア　ウ　C(2)イ	P.22 ～ 28	3
〈話すこと・聞くこと〉一言でまとめ一言から広げる	(1)イ	A(1)ア　イ　A(2)ア	P.29	話聞1
〈小説〉私　三崎亜記	(3)オ	C(1)ア　エ　C(2)イ	P.30 ～ 44	4
二　人権／多様性／平和				
〈読書〉薔薇のボタン　梯久美子	(3)オ	C(1)イ　エ　C(2)ア	P.48 ～ 56	2
〈話すこと・聞くこと〉構成を考えて主張をまとめる	(2)イ	A(1)ア　イ　A(2)ア	P.57 ～ 59	話聞3
〈メディアと表現〉メディア・リテラシーはなぜ必要か？　森達也／新聞が伝える情報を考える	(2)イ	C(1)ウ　C(2)ア	P.60 ～ 67	2
〈漢字の広場　1〉呉音・漢音・唐音	(1)ア　イ		P.68 ～ 69	1
〈文法の小窓・解説　1〉助詞のはたらき	内容の取扱い２(1)ア（2年(1)オ）		P.70　P.282 ～ 286	2
〔伝統文化〕＊四季のたより　春　風	(3)ア		P.72	
三　自然／環境／科学				
〈論説〉ＡＩは哲学できるか　森岡正博	(1)イ　ウ　(2)ア	C(1)ア　イ　エ　B(1)ア　C(2)ア　B(2)ア	P.74 ～ 79	5（書1）
〈書くこと〉具体例をもとに説明文を書く	(1)イ　(2)イ	B(1)イ　B(2)イ	P.81 ～ 83	書5
〈漢字の広場　2〉熟字訓	(1)ア　イ		P.84 ～ 85	1
〈言葉の小窓・解説　1〉和語・漢語・外来語	(1)イ　(3)ウ		P.86　P.270 ～ 272	1
〔伝統文化〕＊四季のたより　夏　流	(3)ア		P.88	
四　表現／対話／思想				
〈論説〉async――同期しないこと　坂本龍一	(2)ア	C(1)ウ　エ　C(2)ア	P.90 ～ 95	6（話聞1）
〈論説〉問いかける言葉　国谷裕子	(2)ア	C(1)ウ　エ　A(1)オ　C(2)ア　A(2)イ	P.96 ～ 102	
〈書くこと〉説得力のある批評文を書く	(2)ア　イ	B(1)ウ　B(2)ア	P.103 ～ 105	書5
〈文法の小窓・解説　2〉助動詞のはたらき	内容の取扱い２(1)ア（2年(1)オ）		P.106　P.287 ～ 291	2
〈言葉の小窓・解説　2〉相手に対する配慮と表現	(1)エ		P.107　P.273 ～ 275	1
〈メディアと表現〉ニュースで情報を編集する	(2)イ	B(1)ア　C(1)ウ　B(2)イ　C(2)ア	P.108 ～ 110	2（書1）
〈実用〉実用文を読む	(1)ウ　(2)イ	C(1)ア　C(2)ウ	P.111	1
〔伝統文化〕＊四季のたより　秋　音	(3)ア		P.114	
五　伝統／文化／歴史				
〈古文〉旅への思い　――芭蕉と『おくのほそ道』――	(3)ア　イ	C(1)ウ　C(2)イ	P.116 ～ 125	4
〈古文〉和歌の調べ　――万葉集・古今和歌集・新古今和歌集――	(3)ア　イ	C(1)エ　C(2)イ	P.126 ～ 133	3
〈漢文〉風景と心情　――漢詩を味わう――	(3)ア	C(1)ウ　C(2)イ	P.134 ～ 139	3
〈読書〉最後の一句　森鷗外	(1)イ　ウ　(3)オ	C(1)ア　C(2)イ	P.140 ～ 159	2
〈漢字の広場　3〉異字同訓	(1)ア　イ		P.160 ～ 161	1
〈言葉の小窓・解説　3〉慣用句・ことわざ	(1)イ　(3)ウ		P.162　P.276 ～ 278	1
六　自己／他者／物語				
〈俳句〉俳句の味わい　堀本裕樹	(1)イ	C(1)ウ　B(1)エ　C(2)イ　内容の取扱い１(2)（2年B(2)ウ）	P.166 ～ 173	2（書1）
〈詩〉初恋　島崎藤村	(1)イ　ウ	C(1)ア　ウ　C(2)イ	P.174 ～ 177	1
〈小説〉故郷　魯迅　竹内好　訳	(1)イ	C(1)ア　イ　ウ　エ　C(2)イ	P.178 ～ 196	7
〈書くこと〉自己ＰＲ文を書く	(2)ア	B(1)オ　B(2)ア	P.197 ～ 199	書2
〈言葉と社会　1〉＊コミュニケーションの場を考える	(1)イ　エ	A(1)エ　オ　B(1)イ	P.200	
〈話すこと・聞くこと〉表現の工夫を評価してスピーチをする	(1)イ	A(1)ア　ウ　A(2)ア	P.201 ～ 203	話聞2
〈漢字の広場　4〉四字熟語	(1)ア　イ		P.204 ～ 205	1
＊学びのチャレンジ		B(1)ア　エ　C(1)ア　イ　エ　B(2)イ　C(2)ア	P.208 ～ 218	
七　近代化／国際社会／共生				
〈総合（SDGs）〉持続可能な未来を創るために――人間の生命・存在を考える／生命とは何か　福岡伸一／地球は死にかかっている　手塚治虫／水の星　茨木のり子	(2)ア	A(1)オ　B(1)ウ　C(1)エ　A(2)イ　B(2)ア　C(2)ア	P.220 ～ 229	3（話聞1　書1）
〈話すこと・聞くこと〉＊「対話力」とは何か　多田孝志	(1)イ	A(1)ア　オ　A(2)イ	P.230 ～ 233	
〈言葉と社会　2〉＊自分の意見を述べるとき	(2)イ	A(1)イ　エ　B(1)イ　C(1)イ	P.234	
〈話すこと・聞くこと〉意見を共有しながら話し合う	(1)エ　(2)ア	A(1)ア　エ　オ　A(2)イ	P.235 ～ 237	話聞2
〈書くこと〉情報をまとめて作品集を作る	(2)ア	B(1)ア　B(2)イ	P.239 ～ 241	書4
〔伝統文化〕＊四季のたより　冬　空	(3)ア		P.242	
八　未来のあなたへ				
〈小説〉バースデイ・ガール　村上春樹	(1)イ　(3)オ	C(1)エ　C(2)イ	P.244 ～ 261	2
〈評論〉青春の歌――無名性の光　穂村弘	(1)イ　(3)オ	C(1)エ　C(2)ア	P.262 ～ 265	1
〈詩〉やわらかな想い　さくらももこ	(1)イ	C(1)エ　C(2)イ	P.266 ～ 267	1

（計）話聞 10時間
　　書 20時間
　　計 93時間（＊印の教材は，適宜扱う）

編　修　趣　意　書

（発展的な学習内容の記述）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
31-86	中学校	国語科	国語	3

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
17　教出	国語　903	伝え合う言葉　中学国語３

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
312・313	古典文法活用表	2	○内容の取り扱い 第3　3⑵ア 国語に対する認識を深め，国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。	2
			合 計	2

（「類型」欄の分類について）

1……学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2……学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容